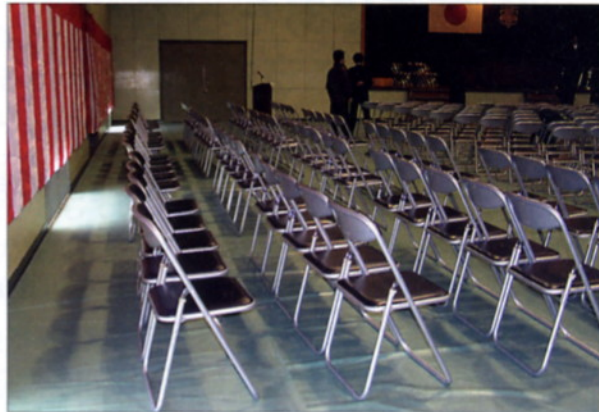


教育後援会通信「ちから」



岐阜高専西門のさくら並木



後援会より折りたたみ椅子寄贈

ごあいさつ

教育後援会会長 寺 町 勝 弘



新緑のころ 皆様も心地よくお過ごしのことと思います。

さて、今回10号目となる「ちから」ですが、会員個々の力を集めて大きな「ちから」にして学校を支えていこうという趣旨を私も継いでいこうと考えております。今までの発刊に携わられたお二人の会長のご尽力を台無しにしないよう精一杯努力する所存です。そのためには、やはり会員の皆様全員参加型の教育後援会を作っていく必要があると思います。それは、全員が集まって話をするというものでなく会員ひ

とりひとりの意識のなかに後援会を持っていただき「今はこうだけどうしたらいいのになぁ」とか「学校にこうしてほしいなぁ」などのご意見を寄せてほしいのです。そのようなご意見を持っていただくためには後援会の活動等を知っていただき、内容を充分理解していただけるよう後援会役員が努力しなければならないと思っております。今年度より橋浦事務局長にも加わっていただき事務局のほうも一層充実してまいりました。また、HPなどでも教育後援会のご紹介をさせていただいております。教育後援会役員ならびに事務局も努力してまいりますので、会員皆様方もおひとりおひとりが興味ある目で見ていただきご意見を聞かせていただきたいと願います。みんなの心がひとつになっていくことが、子供達がお世話になっている学校を支えることにつながり、子供達がより素晴らしい学校生活を過ごすことが出来るようになると考えております。私たちも努力しますので、皆様も一緒に全員参加型を目指しましょう。

新任にあたって (さざれ石)



校長 榊 原 建 樹

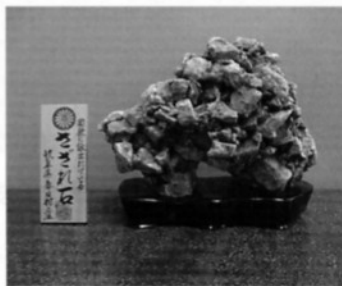
このたび小崎正光前校長の後を受け継ぎ、4月から校長に就任しました。校長就任に当たり、ご挨拶申し上げます。

皆さま方すでにご承知のとおり、本校は「技術科学に夢を託し、家族愛と郷土愛に目覚める」という目標を掲げ、真摯に学ぶ学生、熱意ある先生方・事務職員というよき伝統を継承しています。これは歴代校長を中心とした教職員が積み重ねてきた賜物であり、それを受け継ぐのが私どもの義務でもあります。しかしながら、本校も独立法人化してから、財政運営の厳しさをひしひしと感じており、教育後援会のバックアップを切にお願いする次第です。

さて、去る4月3日、私は東京にある本学の上部機関である独立行政法人国立高等専門学校機構で辞令を交付され、その後、事務部長と共に文部科学省の関連部署に就任挨拶に回りました。その文部科学省の玄関に一抱えほどの「さざれ石」が2個、どっしりと飾ってありました。説明の木札をよく見ると、産地は岐阜県揖斐郡春日村ではありませんか。春日村は本校から近い距離（西に約30 km）です。春日村にある春日中学校からも本校に毎年、1、2名の入学生が来ているとのこと。また、岐阜県指定天然記念物でもあります。普通の岩は小さくなる一方ですが、この「さざれ石」は小さな石が数個づつ固まって大きな岩になっていくのです。石灰石が長い年月の間に雨水で溶解し、その粘着力の強い乳状液が、次第に小石を凝結させ、だんだんと巨岩になっていったのです。

本校に入学した小さな石のような学生一人ひとりが、「さざれ石」のように、知、徳、体を凝結させ巨岩となって卒業していくことを祈願し、この「さざれ石」を本校の玄関にも飾ることを事務部長らに提案しました。皆さんの賛同を得、早速、春日村の「さざれ石公園」近くで、本学に適した大きさの「さざれ石」を購入し、本学玄関に設置しました。

毎日、本学の玄関に入る際、自分も含めて本学の学生が「さざれ石」のように成長することを願って仕事に邁進しています。教育後援会の会員の皆様におかれましても、まだ見られていない方は、ぜひ、御覧いただきたいと思います。



入学にあたり親の思い

親として思うこと

1年保護者

「はたして、この子達は高専に向いているのかしら」これは2人の息子が受験する前に私達親と、すでに高専に通っている長男との間で幾度となく話題になった事でした。

結局縁あってお蔭様で二人同じ科にお世話になる事になり、今3人で片道50分の自転車通学をしております。何故かまちまちに出かけていき、帰りも同じということは一度もありませんが…。

親にしてみれば、3人が同じ学校へ行ってくれるという事は願ったり叶ったりでした。でも2年前に国立から法人化されたことにより多少の不安を感じていたこと、さらにJABEEという聴いた事もないような制度により、世界に通用する技術力を身に付けていくというすごい環境の中、ついていけるのかという心配もなかったわけではありません。

なにせ今まで何かに打ち込んだという事もなく、特につまづく事もなく、15年間生きてきた2人ですから、今後きっと大きな壁に阻まれるに違いないと思うからです。しかし入学したからには、その制度と先生方を信頼し、何よりも5年間を共にする仲間を大切に、助け合って乗り越えてほしいと願っています。

母親として勉強を教えてやれませんが、せめて毎日おいしいお弁当や食事を作ってやり、「行ってらっしゃい」「お帰り」と、いつも笑顔で接して支えてやりたいと思っています。

入学の誇りと願い

1年保護者

思えば、昨年この時期この頃、本人に将来の夢とは何かと尋ね語り合った事があります。本人は、幼い頃より空飛ぶ列車・自家用車を挙げ、この物体を造り上げていくことこそ新人類の夢であると、まるでほら吹きのような不可能な夢に笑い驚いていた事が思い浮かびます。

夢を成し遂げたい未来こそが、高専であると本人は冗談ながらに語ったものです。豊かな幅広い発想力、実践的技術者の育成を目標とする本校こそ本人にとって夢が夢ではなく、現実的に近づいていく学校に感じられます。

国際社会における日本人としてもアイデンティティを再確認し、グローバル社会を生き抜く精神力と先輩方々の築き上げた実績と誇りを守りながら、英知と勇氣と情熱を持ち続け、充実した学校生活を送り、精一杯学業に励んでもらいたいものです。

また部活動においても、個人の修練・社会の奉仕・チームメイトとの友情などの三つの信条を持ち続け、私生活が乱れないよう初心を忘れず、親から自立した人間として育っていく事を願いつつ、気長に子供を信じ見守り続けて行きたいと思っています。

教育後援会行事予定

6月16日(金) 保護者見学会 (草津市滋賀県立琵琶湖博物館)

◇教育後援会地区保護者懇談会 13:00～

11月4日(土) 飛騨地区 会場現在交渉中
 “ 愛知県地区 会場現在交渉中
 11月5日(日) 滋賀県地区 会場現在交渉中
 “ 岐阜地区 本校
 11月11日(土) 東濃地区 会場現在交渉中
 11月12日(日) 美濃・加茂地区 会場現在交渉中
 “ 西濃地区 本校

●お知らせ

これまで総会は入学式当日に開催されておりましたが、主な出席者が新入生の保護者でした。したがって、教育後援会のことがあまり理解できない時期でした。今回、役員で検討の結果、5月に実施することになりました。さらに教育後援会の理解を深めていただくために説明会を入学式後に実施いたしました。地区別に集まり、地区の役員も決まり、好評でした。

主な学校行事

6月1日(木) 更衣
 2日(金)～8日(木) 前期中間試験 (第1～5学年)
 24日(土) 寮生盆踊り大会
 7月1日(土)～2日(日) 第44回東海地区国立高専体育大会
 (陸上：鳥羽、硬式野球：鈴鹿、ソフトテニス：豊田)
 7日(金) 休講
 7月8日(土)～9日(日) 第44回東海地区国立高専体育大会 (主管：鳥羽)
 7月15日(土)～16日(日) 第44回東海地区国立高専体育大会 (テニス：岐阜)
 20日(木) 休講 学級懇談会 (第1～4学年)
 寮生保護者個別懇談会 (第1～4学年) 閉講、閉寮 16:00
 7月21日(金) 夏季休業始
 8月1日(火)～12日(土) 第41回全国高専体育大会 (主管：舞鶴)
 8月29日(火) 夏季休業終、開寮 13:00
 30日(水) 開講
 9月3日(日) 岐阜高専見学会
 13日(水)～21日(木) 前期期末試験 (第1～5学年)
 30日(土) 閉講 前期終
 10月1日(日) 後期始、更衣
 2日(月) 開講
 16日(月)～29日(日) 学級(個人)懇談会週間
 17日(火)～18日(水) 学級(個人)懇談、授業参観日(保護者)
 28日(土)～29日(日) 高専祭公開日
 29日(日) ロボコン2006 第19回東海北陸地区大会 (沼津)
 11月26日(日) ロボコン2006 高専部門全国大会 (国技館)
 30日(木)～12月6日(水) 後期中間試験 (第1～4学年)

学 校 は 今

新入生のここが気がり

－アンケートのまとめ－

4月6日に開催されました入学式後の教育後援会説明会の機会を利用して、保護者の方に勉学、卒業後の進路、説明会、地区別懇談会及び見学会についてアンケート調査を実施しましたので、報告します。

(1) 教育後援会説明会

会場を入学式と同じ第一体育館に設定し、地区別に分散しました。会場は適切との回答が63%で好評でしたが、説明が聞こえないとの回答も22%ありました。なお、ほぼ全員の方が説明の時間は適切であるとの回答でした。説明内容についても適切との回答が91%でした。その一方で、地区別の部屋が欲しいとの要望もありました。

(2) 地区別懇談会

開催時期については土、日を希望する回答が55%でした。ついで夏季休業中の開催要望が23%でした。会費については特に要望はありませんでした。もちろん安いほうがいいのですが、懇談会の内容としては進路、学校での生活等の情報などでした。参加を希望する方は69%（124名）でした。参加を決めかねている方は29%でした。

(3) 保護者見学会

実施時期の要望は夏から秋の休日でした。会費は3000から5000円、内容は大学、企業などで、卒業生の話も聞きたいとの回答がありました。

(4) 勉学

図1に示しましたように高専での勉学についていけるか、留年などの不安を感じているとの回答が77%でした。塾の必要性の有無などの回答は9%、環境、学校目標、資格など高専の長所に対する回答が3%でした。

(5) 進路

図2に示しましたように入学直後のことでもあり、進路について未定との回答は44%でした。しかし、卒業後の進路に関する情報提供を要望する回答が25%あり、進路に対する関心の高さがわかります。

(6) その他

その他の項目では、通学の不安に関する回答が35%あり、私鉄廃止の影響が大きいことがわかります。ついで学寮に関する回答が38%でした。

この他にも貴重なご意見を多数いただきましたが、割愛させていただきます。

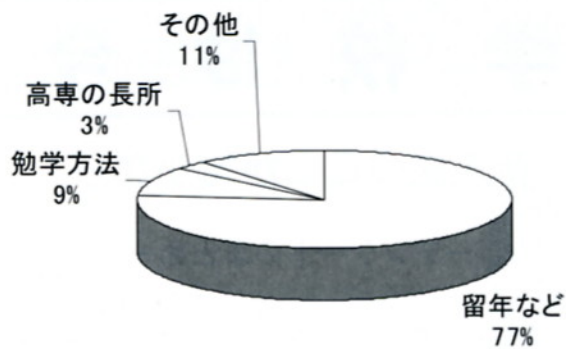


図1 気がかりな点・安心した点など

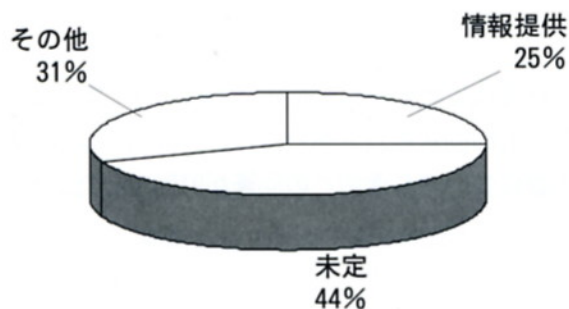


図2 進路に対する意識

(7) まとめ

今回のアンケートの回答を通して、新入生の保護者の方の期待と不安が、さらに子に対する細やかな心遣いが伝わってきて、新入生が無事高専を巣立っていくことを期待いたします。

さて新入生の保護者の方が少しでもお役に立ちますように次の3つの提案をさせていただきます。

- ①朝食をとりましょう！（脳の活性化）
- ②遅刻・欠席をしないように！（成績と関係があります）
- ③クラブ活動で規則正しい生活習慣を！

（事務局長 橋浦）

●編集後記

この度、縁がございまして岐阜高専教育後援会の事務局長をお引き受けすることになりました。岐阜高専の在職中は機械工学科で材料あるいは電子計算機関係の授業を担当してきましたが、昨年3月に定年退職いたしました。第1期生を知っておりますし、クラブ活動、進路指導などを通じて得た経験を生かして皆様方と岐阜高専のパイプ役を果たしたいと思っております。

編集後記にかえてご挨拶申し上げます。

事務局長 橋浦正史



発行：岐阜工業高等専門学校 教育後援会事務局 TEL・FAX (058) 323-8752
〒501-0495 岐阜県本巣市上真桑2236-2 E-mail: gnctk@yahoo.co.jp